

## Nichijou Tradução EP01 (Parte 02)

にちじょう

日常 = dia a dia, rotina, vida cotidiana.

1- は～い！

Pronto!

• • •

2- <sup>こうちょう</sup>（校長） ええ <sup>みな</sup>皆さん おはようございます。

Bem, bom dia a todos.

校長 = diretor.

3- <sup>はる</sup>春になり <sup>あた</sup>新 <sup>ねん</sup>しい年度が始まりましたが、  
<sup>さむ</sup>まだまだ <sup>ひ</sup>寒い <sup>つづ</sup>日が続きますね。

A primavera chegou e o novo ano escolar começou **porém**, os dias frios **ainda** continuam.

**春になりました** = “chegou a primavera”, “tornou-se a primavera”.

年度 = ano letivo/escolar, ano fiscal. No Japão, o ano letivo e fiscal começa na primavera no dia 1º de abril.

4- 私<sup>わたし</sup>は 皆<sup>みな</sup>さんの倍<sup>ばい</sup>は寒<sup>さむ</sup>いんですけどね。

Embora eu esteja com duas vezes mais frio em relação a vocês, né?

倍 = duas vezes, duas vezes mais, o dobro.

【校<sup>こう</sup>長<sup>ちょう</sup>の笑<sup>わら</sup>い声<sup>ごえ</sup>】

[Som de risadas do diretor]

5- とにかく カゼをひかないように

De qualquer forma, tomem cuidado para que não peguem resfriado.

かぜ 風邪をひく = pegar resfriado. [Expressão]

ように = 1- afim de (atingir um objetivo), de modo a, a fim de, para que, tomar cuidado para que (X não ocorra). 2- esperando ou desejando por algo. [Expressão]

6- いいですか これは校<sup>こう</sup>長<sup>ちょう</sup>先生<sup>せんせい</sup>との約<sup>やく</sup>束<sup>そく</sup>です。

Está bem? Isto é uma promessa (acordo) para com o “seu” diretor.

7- 皆<sup>みな</sup>さんが言<sup>い</sup>うことを聞<sup>き</sup>けなかつたら、  
校<sup>こう</sup>長<sup>ちやう</sup>先生<sup>せんせい</sup>は・・・

Se todos vocês não ouvirem o que eu disse (digo), o diretor “de vocês” ...

8- ほかの学<sup>がっこう</sup>校<sup>がっこう</sup>の校<sup>がっこう</sup>長<sup>ちやう</sup>先生<sup>せんせい</sup>に なちやいますよ～

Acabará se tornando diretor de outra escola.

【校<sup>こう</sup>長<sup>ちやう</sup>の笑<sup>わら</sup>い声<sup>こゑ</sup>】

[Som de risadas do diretor]

9- (ユウコ) ミオちゃん ミオちゃん

Mio-chan, Mio-chan

10- (ミオ) 何<sup>なに</sup>? 話<sup>はな</sup>してると怒<sup>おこ</sup>られるよ。

O que é? Seremos repreendidas por estarmos conversando.

11- (ユウコ) あのさ 校<sup>こう</sup>長<sup>ちやう</sup>って 自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>のギャ  
グ<sup>ふる</sup>が古<sup>ふる</sup>すぎるこ<sup>き</sup>と気<sup>き</sup>付<sup>づ</sup>いてないのかな。

Ei, será que o diretor não percebe que as mordanças (piadas) dele são muito ultrapassadas?

ギャグ = “mordança de um tiro” (gag, visual gag). É um termo usado para representar mordanças que

geralmente são rápidas e destinadas a gerar risadas rapidamente. Também pode ser chamado de “piadas pontuais”, pois muitas vezes são enigmáticas, aleatórias e têm pouco contexto.

すぎる = indica que algo “é X demais”, que algo excedeu o normal de algo, “algo é muito X”.

### [Capítulo 5.6]

12- 毎回 <sup>まいかい</sup> 受け入れ<sup>う</sup>られてないことぐらい、  
本人<sup>ほんにん</sup>が一番<sup>いちばん</sup> 分<sup>わ</sup>かっていると思<sup>おも</sup>うんだけど。

毎回 = toda vez, sempre, nunca (com a negativa)

受け入れる = aceitar, concordar.

本人 = a pessoa em questão, a própria pessoa.

13- (ミオ) うーん どうなんだろうね。

14- (ユウコ) もしかして、受け入れ<sup>う</sup>られてないこと<sup>し</sup>を知ら

15- なお<sup>どりよく</sup>努力する<sup>しせい</sup>姿勢<sup>げんだい</sup>を現代のすれた若者<sup>わかもの</sup>に見<sup>み</sup>せているの・・・かも

16- そうだとすれば、この校<sup>こう</sup>長<sup>ちょう</sup>かなりの手練<sup>てだ</sup>れ！

17- マイちゃん？

18- （ミオ）マイちゃんが！

19- （ユウコ）まさか あのオヤジギャグが？

20- しかも マイちゃんが こんなに<sup>わら</sup>笑ってる  
ところ<sup>はじ</sup>始めて<sup>み</sup>見たよ。

21- よし！ここは<sup>ひと</sup>一つ。マイちゃん！

22- （マイ）うん？

23- (ユウコ) 《今<sup>いま</sup> ここで言<sup>い</sup>ったら、すべて  
を失<sup>うしな</sup>いそうなき<sup>き</sup>がする。》

24- (マイ) ユウコ ごめん やっぱ何<sup>なん</sup>でもな  
い。

25- 《やっぱり きづ 気付くまで・・・取<sup>と</sup>るのは  
やめよう》

・・・

26- (教頭先生<sup>きょうとうせんせい</sup>) では、続<sup>つづ</sup>いて サクライ先生<sup>せんせい</sup>  
から生徒指導<sup>せいとしどう</sup>のお話<sup>はなし</sup>です。

27- サクライ先生 ねが お願いします。

28- (タカサキ先生) あの・・・サクライ先生

29- (サクライ先生) はいっ

30- すいません <sup>せいとしどう</sup> 生徒指導のサクライです。

31- うっ すいません・・・ええ・・・ああ・・・

32- 《やっぱり <sup>にんずう</sup> こんな人数いると <sup>きんちょう</sup> 緊張する》

33- 《ダメダメ <sup>りそう</sup> <sup>きょうし</sup> <sup>ちか</sup> こんなじゃ。いつまで た  
っても理想の教師に近づけないんだから》

34- 《<sup>い</sup>言うべきところで<sup>い</sup>ビシッと<sup>い</sup>言わないと。  
そうだ！》

35- <sup>さいきん</sup> 最近 <sup>こうない</sup> 校内でヤギをよく <sup>み</sup> 見かけるんです  
が、ヤギは <sup>がっこう</sup> 学校には <sup>も</sup> あまり持ってこないよ  
うにしましょう。

36- （コージロー）ヤギの・・・ヤギの<sup>なに</sup> <sup>わる</sup> 何が悪い！

37- ヤギでつうがく通学するのはこうそくいはん校則違反ではないであ  
ろうが！

38- (ユウコ) ミオちゃん あれササハラせんぱい先輩  
じゃない？

39- (ミオ) へええ そーお？

40- (サクライせんせい先生) ううう ヤ・・ヤギを  
きよか許可します！

じゅうせい【銃声】 (生徒たち) うわっ！

41- (立花たちばなミサと) きやつか却下よ！きやつか却下 きやつかド却下よ！

42- ヤギなんか も持ってきていいわけないでし  
よ！



43- <sup>ささはら</sup>（笹原コージロー） <sup>い</sup>そうは言うが <sup>たちばな</sup>立花ミサとよ。

44- <sup>わたし</sup>なぜ <sup>にほん</sup>私が <sup>あし</sup>二本足で <sup>ある</sup>スタコラ歩かねばならんのだ。

45- <sup>だいたい</sup>大体 <sup>ささはらけ</sup>笹原家の <sup>ちやうなん</sup>長男 <sup>というの</sup>というのは・・・

46- <sup>たちばな</sup>（立花ミサと） <sup>なに</sup>何が <sup>ささはらけ</sup>笹原家長男よ！あんた  
<sup>ふつう</sup>んち <sup>のうか</sup>普通の農家でしょうが

47- <sup>ささはら</sup>（笹原） <sup>なん</sup>だから何だ。 <sup>ちやうなん</sup>長男 <sup>ちやうなん</sup>が <sup>い</sup>長男と言っ  
<sup>なに</sup>て <sup>わる</sup>何が悪いのだ。

48- <sup>ささはらくん</sup>（フェツちゃん） ふえっ <sup>ささはらくん</sup>笹原君ちって  
<sup>のうか</sup>農家だったんだ。

49- <sup>きぶん</sup>（ウェボシー） <sup>なにか</sup>なんか <sup>だまされた</sup>だまされた気分

50- あの自転車置き場のヤギ 笹原先輩のだったんだ。

51- 白ヤギに乗った笹原先輩が私を迎えに・・・

52- （笹原）ハッピーニューイヤー

53- （ミオ）ミ・・・ミートゥー

・・・

54- （サクライ先生）自転車の  
携帯は大変危険です。

55- 絶対 やめましょう。

56- それと<sup>さいご</sup>最後に・・・

57- 今朝、<sup>け さ</sup>私<sup>わたし</sup>の<sup>ばこ</sup>げた箱<sup>みろくぼさつ</sup>に<sup>はい</sup>弥勒菩薩が入っていました。

58- こういうイタズラをするのは よくないと  
<sup>おも</sup>思います。

59- (ユウコ) すいませーん <sup>とお</sup>通りまーす

60- (マイ) <sup>みろくぼさつ</sup>弥勒菩薩・・・

61- (ユウコ) マイちゃん！ <sup>きゅう た ど</sup>急に立ち止まらないで

62- (マイ) あっ <sup>へん</sup>ここら辺 デジャブかもしれない。

63- (サクライ先生) <sup>だれ</sup>誰が やったんですか？

<sup>て</sup>怒らないから手<sup>あ</sup>を上げてください。

64- <sup>で</sup>出てくるまで <sup>きょう</sup>今日はこのまま <sup>ちょうれい</sup>朝礼です  
よ。

65- <sup>だんしせいと</sup>(男子生徒1) 誰だよ？ <sup>だんしせいと</sup>(男子生徒2)  
<sup>まえ</sup>お前 <sup>で</sup>出ろよ。

66- <sup>こうちょう</sup>(校長) いやあ <sup>さくらい せんせい</sup>桜井先生が <sup>たんじょうび</sup>誕生日だと  
<sup>き</sup>聞いていたもので

67- いやいや そうですか <sup>みろくぼさつ</sup>弥勒菩薩はダメで  
すか。

68- ええ・・・そうですか

たんじょうび おも  
69- 誕生日 よかれと**おも**って プレゼント。

みろくぼさつ こうちょう  
弥勒菩薩はいらぬとスルー **校長**

きょうとう いじょう ちょうれい お  
70- (教頭) 以上で朝礼を終わります。

こうちょうせんせい きょう  
71- 校長先生 今日まで ありがとうございますま  
した。

こうちょう きょうとう  
72- (校長) 教頭～～！！

・・・

【ボタン】

しょうかせん  
73- (ミオ) この消火栓のボタンって すごく  
お まりよく  
押したくなる魔力があるよね。

74- (ユウコ) そうだね

75- <sup>お</sup>押してみたら？それ<sup>まえ</sup>前 <sup>お</sup>押してみたら、音  
とか<sup>な</sup>鳴らなかったし。

76- (ミオ) えっ ホント？

<sup>かさいほうちき</sup>  
【火災報知器のベル】

77- <sup>だんしせいと</sup>(男子生徒1) えっ <sup>かじ</sup>火事？ <sup>だんしせいと</sup>(男子生徒  
2) ウソ！

78- <sup>じょしせいと</sup>(女子生徒1) どうすんの？これ <sup>に</sup>逃げん  
の？

79- <sup>だんしせいと</sup>(男子生徒3) みんな とりあえず<sup>こうてい</sup>校庭に  
<sup>で</sup>出るぞ！

<sup>せいと</sup>  
【生徒たちのざわめく<sup>こえ</sup>声】

80- （男子生徒 4）てめえ なに 人の<sup>せなか</sup>背中  
お  
押してんだよ？

81- （男子生徒 5）お<sup>まえ</sup>前が<sup>お</sup>押したんだろ！

82- （男子生徒 4）何 <sup>なに</sup> <sup>い</sup> 言<sup>だいたい</sup>ってんだ？大体 お  
<sup>まえ</sup>前 <sup>まえ</sup>前からムカついてたんだよ！

83- （女子<sup>じょし</sup>生徒<sup>せいと</sup> 2）止めなよ！人<sup>ひと</sup>が死<sup>し</sup>ぬかもし  
れないのよ！

84- （男子生徒 6）まずは逃<sup>に</sup>げろケンカは そ  
れからだ！

【Helvetica Standard】

85- （死神<sup>しにがみ</sup>）あのお

86- (おじいさん) うわああ！！

87- (死神) あの <sup>しにがみ</sup> すいません <sup>ケー ワイ</sup> K Y <sup>なん</sup> って何で  
しょうか？

88- (死神) あの・・ (女性) <sup>じょせい</sup> きゃー！！

89- (死神) <sup>ケー ワイ</sup> K Y <sup>なん</sup> って何なんでしょう？

90- すいませーん <sup>おし</sup> KY について教えてください。

91- (男性) <sup>だんせい</sup> <sup>たす</sup> 助けてくれえ！！

92- (死神 隊長) <sup>しにがみ</sup> <sup>たいちょう</sup> おい！

93- (死神) あっ <sup>たいちょう</sup> 隊長。KY <sup>なん</sup> って何でしょう  
か？



94- <sup>しにがみ たいちょう</sup>（死神 隊長）<sup>まえ</sup>お前のことだよ。

・ ・ ・

95- <sup>とみおか せんせい</sup>（富岡 先生） <sup>に ねん びぐみ</sup>2年 B組 <sup>ささはら こうじろう</sup>笹原 幸次郎

96- <sup>しきゅう</sup>至急 <sup>しょくいんしつ</sup>職員室の<sup>とみおか</sup>富岡の<sup>く</sup>ところまで来るように

・ ・ ・

97- <sup>とみおか</sup>（富岡）<sup>たし</sup>確かに <sup>こうそく いはん</sup>校則 違反ではないがな

98- ヤギは ないだろ。ヤギは

99- なんとかならんか？

100- <sup>と ほ</sup>徒歩がイヤなら、<sup>じてんしゃ</sup>自転車でもいいんだぞ。

101- ヤギでなければ。

102- <sup>ささはら</sup>（笹原）<sup>ごじん</sup>御仁

103- （富岡）<sup>とみおか</sup>富岡だ。

104- <sup>ささはら</sup>（笹原）富岡。

105- <sup>せんせい</sup>先生をつけろ。

106- （笹原）先生、ヤギではなくー

107- <sup>ささはら</sup>笹原コジロウと <sup>よ</sup>呼ぶわけにはいかない  
か？

108- <sup>とみおか</sup>（富岡）今は ヤギだ。

• • •

109- (ナノ) 《私<sup>わたし</sup>は東雲<sup>しののめ</sup>ナノっていいま  
す。》

110- 《一緒<sup>いっしょ</sup>に住<sup>す</sup>んでいる ハカセが作<sup>つく</sup>ってくれ  
たロボットです。》

111- 《ハカセは 何<sup>なん</sup>らかの研究<sup>けんきゅう</sup>をしているら  
しくー》

112- 《一日中<sup>ついたちじゅう</sup> 家<sup>いえ</sup>にいます。》

113- 《私<sup>わたし</sup>は その お手伝<sup>てつだ</sup>いをしながら、  
日々<sup>ひび</sup> 過<sup>す</sup>ぎしています。》

114- ハカセ～ 牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup> 温めまし・・・た！

115- 《秀でた機能<sup>きのう</sup>は ありませんが、痛覚<sup>つうかく</sup>はあるようです。》

116- （ハカセ） ナノ どうしたの？

117- （ナノ） ハ・・・ハカセ 小指<sup>こゆび</sup>が・・・小指があ～！

118- （ハカセ） とりあえず これで大丈夫<sup>だいじょうぶ</sup>だから

119- （ナノ） 《秀<sup>ひい</sup>でた機能<sup>きのう</sup>は ありませんが、小指<sup>こゆび</sup>がと取れるそうです。》

・・・

120- ハカセ このネジ<sup>なん</sup>は何なんですか？

121- （ハカセ） ああ <sup>かい</sup> 回したことがなかったっけ？

122- （ナノ） はい <sup>まわ</sup> たまに回りますが

123- （ハカセ） これは <sup>まわ</sup> こうやって回すとねえ

124- （ナノ） <sup>なん</sup> 何ですか？

125- 《すいません <sup>ひい</sup> 秀でた <sup>きのう</sup> 機能 <sup>まんさい</sup> 満載です。》

126- （ハカセ） ねっ <sup>おもしろ</sup> 面白いでしょ？

127- （ナノ） もしかして・・・これだけのためにネジを？

128- （ハカセ） そうだよお

129- (ナノ) もしかして これだけのためにね  
じを？

130- (ハカセ) そうだよお

131- (ナノ) <sup>はず</sup>外してください～

132- (ハカセ) ヤダー！

133- なぜならカワイイからです。

134- (ナノ) リアルに<sup>はず</sup>外してください。

135- <sup>わたし</sup>私は <sup>ふつう</sup>もっと普通がいいんです。

136- <sup>ふつう</sup>普通の人みたいに <sup>ひと</sup>イスに<sup>すわ</sup>座ったり <sup>ねがえ</sup>寝返  
りを打ったりしたいんです。

137- これじゃあ <sup>がっこう</sup>学校にも<sup>い</sup>行けないです。

138- いっそ <sup>ひとがた</sup>人型ロボットでなければよかった  
のに

139- （ハカセ） ナノ・・・うっ うっ

140- （ナノ） あああ！ な・・・なんて ウソです  
よ ウソ

141- もう イヤだなあ ハカセは

142- （ハカセ） じゃあ <sup>と</sup>取って <sup>あくたがわしょう</sup>芥川賞 取  
って

143- （ナノ） なんで？

144- （ハカセ） 芥川賞！ 芥川賞！

145- （ナノ） 《そんな<sup>まいにち</sup>毎日です》

146- (男子生徒) ここ どころろう？

【Ending】

147- (親指)<sup>おやゆび</sup> こんにちは ナノちゃん<sup>あし</sup>の足の  
<sup>おやゆび</sup>親指です。

148- 容 量<sup>ようりょう</sup>は 1<sup>いち</sup> ギガです。

149- もうちょっと <sup>ほ</sup>欲しいところですよ。

150- 次回<sup>じ かい</sup>の「日 常<sup>にちじょう</sup>」は 第2話<sup>だい に わ</sup>です お楽し<sup>たの</sup>し  
みに